

2012年4月19日

ブラジルにて新工場の定礎式を実施

～ “AGC is here to grow together with Brazil”：ブラジルとともに成長を目指す～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は4月18日、ブラジルサンパウロ州グアラティンゲタ市にてAGCガラス・ブラジル社の新工場の定礎式を実施しました。昨年より始まった同工場の建設は現在順調に進捗しており、2013年から、南米で最も環境負荷の低いガラス工場を稼働し、建築用ガラス及び自動車用ガラスの出荷を順次開始していきます。

約400億円を投じて行うブラジル進出は、当社グループの経営方針の一つである「第2のグローバル化」の主要なプロジェクトの一つです。AGCグループは世界の各地域でこれまでお客様から高い評価を頂いている、技術、品質、サービス力を発揮し、建築用及び自動車用ガラスの拡販を進めていきます。

AGCグループは、「持続可能な社会に貢献している企業」を目指し、ブラジルの環境保全に向け、高い省エネ効果を持つ製品の提供や、生産プロセスの省エネ化等を進めていきます。特に、今回ブラジルに導入する生産設備は、排気ガス処理、省エネ、省水資源についての先進的技術により、ガラス工場としては南米で最も環境負荷の低いものとなっています。

さらに、AGCガラス・ブラジル社は、グアラティンゲタ市において、約500人の雇用を創出することに加え、先を見据えた次世代の人材の育成にも貢献していきます。

AGCグループは、「2020年のありたい姿」に向けて着実に歩を進めています。成長を続けるブラジルで、環境に配慮し、地域の発展に寄与しつつ、高成長を遂げていきます。

【2020年のありたい姿】

AGCグループは、
『持続可能な社会に貢献している企業』として、

- 差別化された強い技術力を持ち、
- 製品のみならず、生産工程・事業活動全般に亘って環境に配慮し、
- 新興地域の発展にも寄与する、

高収益・高成長のグローバル優良企業でありたい。

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR 室長 上田 敏裕
(担当：戸張 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

< 参考資料 >



AGCグループCEO石村和彦（右）とサンパウロ州都市開発長官エドソン・アパレシド氏（左）によるサッカーボールの交換



AGCグループCEO石村和彦（左）とAGCガラス・ブラジル社長ダビデ・カペリーノ（右）による新工場の建設予定地でのテープカット

新工場の定礎式は、現地4月18日に、連邦政府、州政府、日本政府関係者、建築用および自動車用ガラス関係のお客様など、400人を超える来賓の出席の下、グアラティンゲタ市内で行われました。AGCグループCEOの石村は、「AGCグループはブラジルの人々や社会とともに成長していく（“AGC is here to grow together with Brazil.”）」と抱負を述べました。

【AGCガラス・ブラジルの概要】

社名	AGCガラス・ブラジル
所在地	サンパウロ州 グアラティンゲタ市
出資比率	AGCグループ 100%
操業開始	2013年
事業内容	建築用ガラス、自動車用ガラスの製造・販売
生産能力*	フロートガラス（22万トン/年）、自動車用ガラス（50万台分/年）
従業員数*	約500名
社長	Davide Capellino

※2016年時点